

# POLE

北海道ポーランド文化協会誌誌「ポーレ」  
第36号 1997.4.18

発行  
北海道ポーランド文化協会  
〒060 札幌市中央区南2東2  
河合楽器製作北海道支社  
電話 011-231-8661  
FAX 011-221-4936

## 創立一〇周年記念ポーランドの旅

## ポーランドを飛行機で縦断

### 日本協会との楽しい交流も

かねてから計画されていた「創立一〇周年記念ポーランドの旅」の概略が決まりました。本年（一九九七年）十月四日から約一週間の予定でポーランドを訪問します。ワルシャワから主訪問先のウッジ、クラコフを経由して、空路バルト海沿岸のグダニスクへと向かうポーランド縦断のユニークな旅です。

ウッジでは、日本協会のメンバーや市民と交流します。在ウッジの吉田勝一さんと協力して、音楽会や句会など楽しい催しものを考えています。

クラコフは戦災をまぬかれた「ポーランドの京都」です。市内観光のほか演劇やコンサートも楽しめるでしょう。

グダニスクは、ハンザ同盟時代からの商業都市で、ワレサの「連帯」

でも知られています。戦災を受けた街並は市民の手によって完全に復元されています。今回の旅では、教会でパイオルガンの演奏を聴くことができます。

この訪問団は、本協会の会員以外にも開かれています。皆様おさそい合わせの上、多数ご参加下さい。費用や申込方法などの詳細は、本紙の2ページをご覧ください。

### 日程（案）

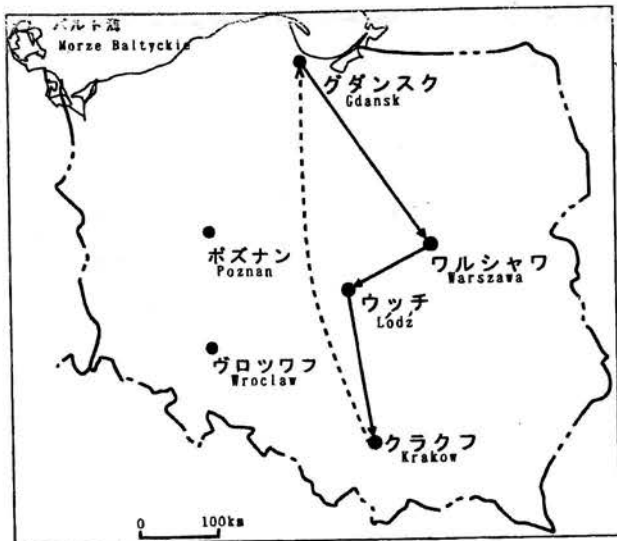
□十月四日（土）成田ーワルシャワ（ホテル

フォーラム）

□十月五日（日）ホテルで朝食後ウッジに向かう（コーチにて）。途中、シヨパンの生家とコルベ神父の教会を見学。ウッジで昼食。日本協会と交流。宿泊。（グラランドホテル）

□十月六日（月）ホテルで朝食後、コーチにてクラコフへ。途中のレストランで昼食。夕食と宿泊。（ホテルクラコビア）

□十月七日（火）ホテルで朝食。パ



ポーランド共和国  
Rzeczpospolita Polska

ベル城見学を含め、半日観光。昼食後、岩塩鉱のヴァリツカへ。夕食と宿泊。(ホテルクラコビア)

□十月八日(水) ホテルで朝食後、コーチにてクラコフ空港へ。9時10分クラコフ発ワルシャワへ。10時50分ワルシャワ空港からグダニスクへ。昼食後、半日観光。夕食と宿泊。(ホテルヘベリウス)

□十月九日(木) ホテルで朝食。マルボークへ遠出。お昼にオリワでパイオルガンの演奏を聴く。昼食。フリータイム。グダニスク駅17時10分発の列車でワルシャワへ。20時22分着。ホテルで夕食。(ホテルフォーラム)

□十月十日(金) ホテルで朝食。観光と自由行動。レストランで昼食。夕食と宿泊。(ホテルフォーラム)

□十月十一日(土) ホテルで朝食後、コーチにて空港へ。機中泊。

□十月十二日(日) 午前中、成田着

## 費用

□航空運賃(成田・ワルシャワ)

一四〇、〇〇〇円

□ポーランド国内旅行の費用(ホテル、食事、コーチ費用、国内航空料、グダニスク・ワルシャワ間の列車の一等コンパートメント等を含

む)

一〇〇、〇〇〇円

□通訳等雑費

一〇、〇〇〇円

(合計)

二五〇、〇〇〇円

他に成田・札幌間往復航空料金、前泊ホテル代、ポーランドビザ代、ポーランド国内での観劇、音楽会等(オプション)の費用がかかります。また、この料金は二十名の参加を見込んで計算しておりますので、参加実人数によっては多少金額が変ることがあります。

なお、この日程の一部は、都合により予告なしに変更される場合があります。

## 申込み・問い合わせ

参加を希望する方または参加をお考えの方は、同封の調査用紙に記入の上、左記までファックスまたは郵送でお送り下さい。

〈FAX〉011-387-9016 (小笠原)

〈郵送先〉江別市大麻園町28-

18 小笠原正明

〈問い合わせ〉小笠原(386-3405)、

斎田(621-1788)、佐々木(814-

9984)、小林(831-8570)(カッ

コ内は電話番号で、市外局番

はいずれも011)

## ある日の旅だより

栗原 朋友子

ハリーナさん、お体の調子その後いかがですか。あんなに楽しみにしていた池田行きが、思いがけない病気で行けなくなりましたね。「ワインまつり」に行くときは、どんな服装で行けばいいのと、まるで子ども頃の遠足のことを思い出すようなハリーナさんのキラキラと光った目を忘れられません。来年もきつと計画されると思っているので、今しばらく体力回復に努めてください。ハリーナさんばかりでなく、おもわぬ事が重なり当初の計画の大型バスを貸切って池田に行くことが不可能となり、急に乗用車二台でゆく「ワインまつり」ツアーとなりました。

のんびり草を食む牛たちを眺めたり、季節の色と防風林がアクセントをつける畑をぬけ、いくら走っても心地よい静けさと窓辺の風景は私には「デッカイドウホッカイドウ」でした。きっとハリーナさんが一緒に

行っていたらポーランドの田舎の景色を思い出したと思いますよ。

エゾマツ・トドマツ・ダケカンバなどの深い原生林カーブを重ねて白樺林が見えてくると、そこは「樹海ロード」と名づけられた雄大な眺めを楽しむことができる道でした。

今回は寄り道も自由にでき、神田日勝記念館にも立ち寄りました。日勝のことは、ハリーナさん知らないでしょう。「農民画家」と言われるのを嫌ったということでしたが、開拓農民の二代目として農業を営みながら絵筆を握り、存在感あふれる絵を描きつづけ三十二才の若さで世界したんだそうです。日勝記念館の建物の正面の壁にも馬が描かれています。死を前にして描きつづけた「馬」が絶筆となったそうですが、未完成に終わり、二本の前足でバランスをとって立っている絵でしたが、切ないほど悲しい目にえがかれ

ていて、これを見ると多くの可能性を残しながら、この世を去った日勝自身をものごとくしているようにおもえました。寄り道ついでに千代田えん堤も見学しました。

十勝川を産卵のために川を遡ってくる大量の鮭をここで生け捕りにする秋の十勝ならではの見ものでした。これはハリーナさんにも見せてあげたいでした。

なかなか宿泊先の『まきばの家』にたどりつきません。やっとたどり着いたときは真っ暗になっていました。

池田の人口は一人にもならないそうですが、『ワインまつり』の時は人も急にふえ、賑やかな池田町と変わってしまいます。札幌からだってポ文協の会員が七名もいっているんですもの。「ポーランドの諸都市の伝説」と言う講演をききました。が、ハリーナさんがこの場においてくれたら、きっと私達にもっと違った面でプラスになったと思うと残念でした。

翌日の午前中は日頃運動不足の私達はパークゴルフをしました。ハリーナさんだったたらどんな打ち方を



したのかしら…と思うと今回の突然のご病気を恨みました。

ワイン城の前の小高い芝生の場所は秋の『ワインまつり』の会場です。食いしん坊にとっては池田のシンボル「十勝ワイン」の飲み放題と牛肉の食べ放題はこのうえもない喜びです。池田を豪快に味わえるのが

『ワインまつり』です。

池田在住の会員さんともワインを飲みながら楽しく歓談の時をもちました。会場の多くの人がワインカラーに染まる頃、ポ文協のメンバーは池田町から新しく会員として入会すると意志表明を下された方のお祝いと会の今後の発展を願って乾杯の声をあげました。その声は会場に響きわたった筈です。

往復とも無事故の安全運転をしてくださった霜田さんと斎田さんには

ご苦労さまと心から感謝をしました。

来年こそはハリーナさん池田に行けるように健康に気をつけてね。

霜田千代磨さんが詠まれた俳句で十勝の秋を味わってください。

○ 十勝川水に抗い鮭帰る

○ 河遡上のちの果ての秋の鮭

○ かん酒やまたかん酒や秋深し

## 安田文子ピアノリサイタル



'97.6月18日(水)

ザ・ルーテルホール

中央区南大通西6丁目通9 ☎(011)261-1311

PM6:00開場/PM6:30開演

入場料/3,000円

チケットは、4プラ・大丸・チケットセゾン・運新プレイガイドにてお求め下さい。

後援/ポーランド共和国大使館、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校音楽部、北海道新聞社、旭川ワイ音楽サービスセンター北海道支社、藤の会、神ヤマ、ミュージック北海道、北海道ポーランド文化協会、日本シンフォニー協会北海道支部

'97.6月30日(月)

カザルスホール

千代田区神田堤河台1-6 ☎(03)3294-1228

PM6:30開場/PM7:00開演

入場料/3,000円

チケットは、カザルスホールチケットセンター・チケットぴあ・チケットセゾン・東京文化会館チケットサービスにてお求め下さい。

後援/ポーランド共和国大使館、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校音楽部

### Profile

札幌生まれ。4歳よりピアノを始める。  
1987年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。  
1990年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。イタリアのアンジエリで開かれたアカデミー・ヨーロッパ・レズビエ音楽祭に出演し、同賞を受賞。  
同年、アンジエリ・ヨーロッパ・アカデミー・アカデミー・アカデミーの公開レッスンでカール・エンゲル、アルト・ノラスの各氏に指導を受ける。  
1991年 アンジエリ・ヨーロッパ・アカデミー・アカデミーの公開レッスンで指導を受ける。  
1994年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。カジミェシュ・キョルジョフ氏に指導。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。  
1995年 ポーランド、シモニョフにてコンサートを行う。シモニョフ市のシモニョフ・フェスティバルにて、日本に初めてリサイタルを行う。  
1996年 アンティゴ・グレイプツァー指揮のライプツィヒ管弦楽団と（東京、札幌、福岡、札幌）で演奏。  
同年、ワグネル・フェスティバル・シモニョフに出演。シモニョフ・フェスティバルに出演。  
1997年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。ポーランド、ワルシャワにて演奏。  
これまで録音された、山崎康徳、藤田真弘、ハリーナ・チルニ、ステファンカの各氏に師事。

お問い合わせ/安田文子ピアノコンサート実行委員会  
☎(011)665-1221 ☎(011)662-6378

マネージメント・お問い合わせ  
カザルスホール事業部 ☎(03)3291-2525

# 一九九六・九七年度総会

## 懇親会行われる

本年度の総会が昨年十一月二十八日（木）午後六時半より、すみれホテルで行われました。総会では、谷本一之会長の挨拶のあと、吉田宏前事務局長が、昨年十月十三日に逝去された前会長今村成和先生を偲ぶスピーチを行い、会員が黙祷をささげました。

発展に多大な貢献をされた次の四氏に対して、功労賞が贈呈されました。

故今村成和殿

遠藤道子殿

熊倉ハリナ殿

吉田 宏殿

（五〇音順）

総会は、佐々木保子氏の司会で以下のような順序で行われました。

（一）一九九五・九六年度事業

および決算報告、監査報告

（二）一九九六・九七年度事業計画と予算

（三）新年度役員承認

（四）功労賞の贈呈

（五）その他

### 四氏に功労賞

右の（四）では、本協会の創設と



このあと懇親会に入り、まず谷本

### 前年度の主催事業

#### 《例会》

- （一）第二十四回例会「美術講演会 ポーランド・クラクフのチャルトル イスキ美術館とレオナルド・ダ・ヴィンチの作品について」、十一月二十五日（土）、北海学園大学国際会議場（参加者約五〇名）
- （二）第二十五回例会「ポーランド料理を楽しむ会」、十二月二日（土）札幌市女性センター料理実習室（参加者約三〇名）
- （三）第二十六回例会「ポーランド時代のシヨパン・エピソードCDを聴くサロン」、三月八日（金）、か

なお、総会に提出された議案の内容は以下の通りです。

一之会長による開会の挨拶と乾杯があり、ついで明上山貴代氏によるシヨパン・バラードOp.52の演奏が行われた。会食の途中で、ポーランド語講習会グループによるポーランド民謡の合唱などの飛び入りもあり、にぎやかなパーティーとなった。最後に、副会長の遠藤道子氏の挨拶と乾杯で懇親会の幕を閉じました。

- （四）第二十七回例会「談話会ポーランド一九九六年五月」、七月二日（月）かである2・7研修室（参加者 約二〇名）
- （五）第二十八回例会ビデオ鑑賞会「コルチャック先生」、九月二八日（土）かである2・7視聴覚室（参加者 約二〇名）
- （六）第二十九回例会「第二回北海道ポーランド文化協会修学旅行」、一〇月五日（土）、六日（日）、訪問先 池田町「ポーランドの諸都市の伝説について」のお話、「ワインまつり」参加（参加者 七名）

#### 《ポーランド語講習会》

- （一）第二〇期 一九九五年一〇月四日（水）より一〇週間（前年度会計処理）
  - （二）第二二期 一九九六年六月二六日（水）より一〇週間（参加者 九名）
  - （三）第二三期 一九九六年一〇月九日（水）より一〇週間（参加者 六名）
- 《その他》  
ポレレ発行 第三二号（十一月九

日)、号外(二月二十五日)、第三号(二月一六日)、第三四号(七月一一日)、号外(九月一一日)(計五回)

総会 一九九五年十月一一日(すみれホテル)

運営委員会十月一一日、一二月二七日、七月一一日、九月二七日(計四回)

### 本年度の事業計画

#### 《主催事業》

講演会、音楽会、映画会、展示会など  
 一〇周年特別行事を含めて五回程度

創立一〇周年記念コンサート  
 十一月八日(金) 六時三〇分

かでの2・7ホール

#### 《後援事業》

音楽会、展覧会、映画会などを適宜行う

#### 《ポーランド語講習会》

初級、中級クラスを年間二シリーズ程度行う

#### 《その他》

会誌ポーレ発行(年間四回)

総会一九九六年一月二八日(すみれホテル)

### 本年度の役員

会長 谷本一之  
 副会長 遠藤道子  
 運営委員

安藤 厚・市川 恒樹  
 薄井 豊美・小林 暁子  
 國田 祐作・斎田 道子  
 佐々木 保子・霜田 千代麿  
 高岡 美保・中島 洋  
 灰谷 慶三・長谷川 洋行  
 淵田 伸二・本間 富雄  
 安田 誠子・吉野 悦雄  
 渡辺 卓

監査委員 富山信夫・吉田 宏  
 事務局長 小笠原正明

1995-96年度会計決算

【収入の部】	1995-96年度会計決算		内訳(単位:円)
	予算	決算	
会費	600,000	543,900	会費全額の82% 寄付(花摘氏)、銀行利子
その他	10,000	23,267	
小計	610,000	567,167	
繰越金	809,924	809,92	
合計	1,419,924	1,377,061	
【支出の部】	1995-96年度会計決算		内訳(単位:円)
	予算	決算	
事業費	50,000	387,969	例会6回 語学講習会補助:164,697 お茶、その他
(仮払い)		31,929	
連絡費	60,000	86,076	ポーレ発送、葉書 総会補助:100,540
会合費	120,000	127,900	
事務費	100,000	101,938	運営委員会室料 ポーレ製作、発送アルバイト、封筒その他 吊費
予備費	10,000	23,900	
小計	640,000	759,712	
繰越金	779,924	617,379	
合計	1,419,924	1,377,091	

1996-97年度予算

【収入の部】	1996-97年度予算		内訳(単位:円)
	前年度決算	予算	
会費	543,900	550,000	預金利子、仮受け、その他
その他	23,267	241,929	
小計	567,167	791,929	
繰越金	809,924	617,379	
合計	1,377,091	1,409,308	
【支出の部】	1996-97年度予算		内訳(単位:円)
	前年度決算	予算	
事業費	87,969	400,000	例会:150,000 講習会:200,000 POLE郵送4回、その他
連絡費	86,076	80,000	
会合費	127,900	130,000	総会補助、運営委員会、その他 アルバイト代、事務用品
事務費	101,938	110,000	
予備費	23,900	10,000	
小計	759,712	730,000	
繰越金	617,379	679,308	
合計	1,377,091	1,409,308	

### 会費納入のお願い

ポ文協の活動は、あなたの会費で支えられています!

北海道ポーランド文化協会の会計年度は十月から翌年の九月までです。一九九六―九七年度の会費の納入をお願いします。本誌と同封で請求書と振替え用紙をお送りします。

#### 《銀行振込み先》

拓銀本店 普通預金(店番)001(口座番号)605-084  
 北海道ポーランド文化協会事務局長 小笠原 正明  
 《郵便振替え先》  
 02740-5-19735 北海道ポーランド文化協会

# 紋別のグルメ

マジエーナ・タイムズ

(北米版)

今年の二月に、ハリーナさんと一緒に紋別のグルメ料理交流会に誘われました。紋別ってどこかというと関連づけたいいか、さっぱり分かりませんでした。そこで日本人の友人に聞いてみたら、「いいね、もし

かしたら流水が見られるかも」と言う。流水？それでは、紋別って札幌よりずっと寒くて北から海に直面しているって何となく想像が付きましました。暖かいマフラーと帽子を着て、旅行に出かけました。

丘珠空港から、二人はプロペラ飛行機に乗ってから、およそ一時間後、紋別に着きました。驚いたことに、飛行機は満席で、二人が一緒に座れるところもなかったから、おしゃべり好きなハリーナさんとゆっくり話はできませんでした。それに、プロペラの音で声あまり聞えないこともあったので、我慢するしかありませんでした。隣の席に

座った日本人の方は、その後、明らかにになったが、グルメ交流会と同じ時行われている「オホーツク海と流水」というシンポジウムの参加者でした。

## 紋別でシンポジウム

そのシンポジウムは同じような氣候、風土、生活環境を背景としたアメリカ、ロシア、カナダ、北欧など北方圏の国内外の科学者が毎年二月、流水の渡来時期に合わせて（今年に残念なことに、近くに来てくれなかった）紋別に集まり、流水や氷海に関する研究、調査、発表などが行われます。そのほか、市民の多くが参加できる様々なイベントもあります。私達が誘われた国際グルメ交流会はその一つでした。ただ二人の外国人の参加者になると思って緊張していた私は、結局、多数の外国人

と国際的雰囲気にかこまれることになったので、ほっとしました。

私達のグルメはシンポジウムが始まってから、次の日にありました。グルメ料理講習会は豊かな経験を持っているハリーナさんにおまかせにして、ポーランドの伝統的な料理である *gotabz*（ご飯入りロールキャベツ）と特に子ども達に人気のある *jablka w ciecie*（りんご入りホット



ケーキ）を紹介することになりました。今年のグルメは十一回で、前に参加したのは北方諸国のロシア、スウェーデン、デンマーク、カナダ、ドイツ、中国、フィンランド、スロバキアなどの国だったそうです。このような豊富な伝統を持っている紋別市はグルメに必要な準備万端を整えてくれました。私達のプロフィールやポーランドについての情報とポーランド語一口メモさえ入っているパンフレットまでつくってもらったのです。グルメの参加者は当地方の新聞の募集で選ばれた、約五十人の女性達で、その中の多くは紋別の主業である漁業に携わる漁師の奥さんたちでした。家庭料理がお上手なハリーナさんがまもなくその場の波に乗って、さっさと次から次へと説明には入っていました。さすが、通じなかったことは一つもなかったのです。ポーランドの家庭で時間をかけるあまりにも面倒臭い料理の一つである *gotabz* でもあったという間に出来上がりしました。今度、自分で作ってみようかなと私も思ってしまった。料理の味は皆に大変ほめられたが、その理由は、ハリーナさんが

ポーランドの伝統的な味を日本の好  
みとうまく合わせる事が出来たと  
ころにあると私には思われます。交  
流が大成し終わったおかげで是非  
もう一度参加してほしいと言われま  
した。運が良かったら、懐しくおい  
しいポーランドの料理を食べる機会  
にまた恵まれるかもしれません（自  
分でなかなか作ることが出来ないわ  
け）。

### オホーツクタワーへ

グルメを終わって、今度、市役所  
の二人の担当者につれられて、紋別  
の観光に出かけました。最初に見学  
したのは、海底から流水の様子が観  
察できる世界初の氷海展望塔、オ  
ホーツクタワーでした。このタワー  
は、海上三階と海底階に分かれ、海  
底から四十六mの高さにあり、そ  
中では、かわいいクリオネリマキナ  
が見られる水槽や映像ホール、展示  
ホールなど流水の神秘を身近に感じ  
ることが出来ます。その後、オホー  
ツク流水科学センターのマイナス二  
十度の厳寒体験室で本物の流水に触  
れてから、直径十五mの全天周映像

ホールで流水原が映し出され上空か  
ら見たオホーツクを視覚的に体験し  
ました。最後のアトラクションはガ  
リンコ号という流水砕氷観光船でし  
た。砕けた流水と海水とが織りなす  
神秘的な色彩の模様は、不思議な魅  
力を持っていたが、船に酔ってし  
まった私には、残念ながら、これ  
なかなか感じる事が出来ませんで  
した。

わずかな三日間で、交流、イベン  
ト、アトラクションで、疲れるほど  
日程がいっぱいでした。だが、札幌  
での生活にそのような冒険ができる  
チャンスがめったにないため、か  
えて胸を躍らせていました。素晴  
らしい思い出をどうもありがとうございます。



### ポーランド語講習会のお知らせ

## 「すぐ役に立つ」ポーランド語

継続の方、  
復習される方、

初めて習う方、

旅行を計画される方へ。

挨拶の言葉は、

買い物の際は、

ちょっと尋ねるときは、

基礎文法やポーランドの現況など。

熊倉ハリナ先生と高岡美保先生が担当されます。

#### 【日時】

5月28日から  
毎週水曜日  
午後6時30分～8時30分  
全10回

#### 【場所】

北海道クリスチャンセンター  
札幌市北区北7西5  
(電話 736-3388)

#### 【会費と申し込み】

12,000円(10回分)  
初回会場にて申し受け

#### 【お問い合わせ】

富山まで  
(電話 551-7698)

## 最近のポーランドの物価

ポーランドの新聞「ポリティカ」に、生活物価一覧が載っていましたので、その一部を紹介いたします。物価は対前年比十六%アップ(四十品目平均)で、月収は二十三日アップになっています。なお、

表の「月収で購入できる量」から平均所得水準の実態と推移を見当づけることができますでしょう。(富山)

品物	市価(1996)	月収で購入できる量		
		円*	'96	'95
パン kg	92	418	536	524
牛乳 l	42	919	833	1224
バター 250g	88	438	441	209
砂糖 kg	92	418	441	275
牛肉骨付 kg	378	102	100	109
豚ロース kg	588	65	75	49
ソーセージ kg	286	135	136	171
馬鈴薯 kg	15	2626	1250	1004
リンゴ kg	55	707	500	288
オレンジ kg	134	287	300	47
コーヒー 100g	76	511	395	65
ウォッカ 0.5l	559	69	61	26
チョコレート 100g	59	656	536	106
婦人美容室 回	1050	37	47	58
紳士青広服 着	21000	1.8	1.9	2.4
冷蔵庫(280l)台	52500	0.7	0.6	0.6
カラーテレビ(21型)台	39900	1.0	0.8	0.1
映画 回	336	115	125	77
新聞 部	42~84	690	573	2185
市営交通 回	21~42	1379	1407	2532

[註] POLITYKA (1997. 1. 11) より

円換算\* 1zł=42円として (2.87zł=1F¥=120円)

## 第三十回例会お知らせ

お話とピアノ

— ショパンについて (仮題) —

- 【日時】 七月十一日(金) 午後六時
- 【会場】 かでのる2・7 特別研修室
- 【お話】 三浦 洋

第二十六回例会で「ポーランド時代のショパン」と題して、会員の三浦さんにお話をさせていただきました。大変好評で、次回もという声がたくさん届きました。今回は、ピアノを用意し、ショパンの曲を楽しみながら、お話を伺う予定です。詳細は次号ポレレで。

## ポーランド大使館一時移転

ポーランド共和国大使館が建て直しのため、一時移転しました。完成まで数年かかる予定です。

(住所) IT108 東京都港区  
高輪4の5の14  
オークホームズ

「ポレレ」編集委員会  
小笠原正明・斎田道子  
佐々木保子・安田誠子  
〔連絡先〕  
621-1783 (斎田)



## POLE 第 36 号(1997.4.18)目次

〈第 31 回例会〉「創立 10 周年記念ポーランドの旅」(1997.10.4~12)のお知らせ……………	1
栗原朋友子「ある日の旅だより」……………	2
安田文子ピアノリサイタル(1997.6.18)のお知らせ……………	3
1996・97 年度総会・懇親会(1996・11・28)報告……………	4
マジェーナ・タイムチョ「紋別のグルメ」……………	6
第 23 期「すぐ役に立つポーランド語」講習会(1997.5.28~)のお知らせ……………	7
最近のポーランドの物価(「ポリティカ」誌より)、〈第 30 回例会〉「ショパンについて(仮題)」(お話:三浦洋、 1997.7.11)のお知らせ、ポーランド大使館一時移転……………	8